

平成 28 年 3 月期

中間株主通信

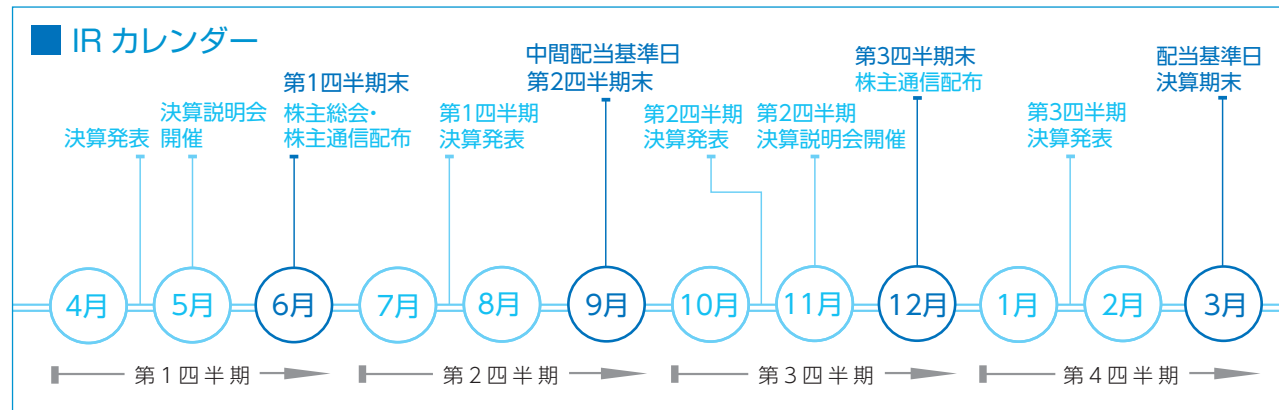
平成 27 年 4 月 1 日 ▶ 平成 27 年 9 月 30 日

当社ホームページのご紹介

当社では、IR専用のホームページを設けて、決算情報等のIR関連の情報をタイムリーに配信しております。また、株主・投資家の皆さま専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。

トップページのアドレスはこちらです。

<http://www.nicho.co.jp/>



日本の調剤薬局

 日本調剤株式会社

〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースタワー37階
TEL.03-6810-0800 (代表) FAX.03-5288-8688

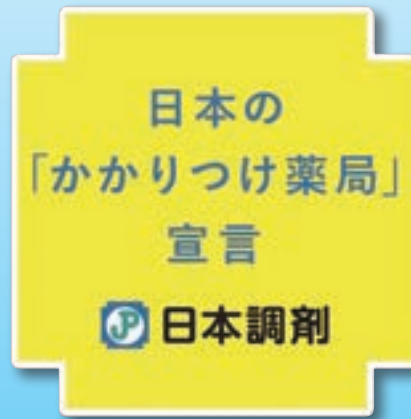
UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



 日本調剤株式会社

証券コード：3341



—平成 27 年 9 月より広報キャンペーンを展開中—

病気と向き合うとき、人は支える力が必要になる。

薬の専門家として、患者さまにできることをひとつひとつ丁寧に。

日本調剤はジェネリック医薬品や在宅医療への取り組みを推進し、

日本の医療を支える「かかりつけ薬局」として歩み続けます。



株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
超高齢社会が到来した現在、地域社会における医療の担い手として、調剤薬局そして薬剤師の存在・役割に対する期待は一層高まってきております。このような中、当社では、ジェネリック医薬品の普及促進や在宅医療への取り組みなど、地域社会に必要とされる存在になるための数多くの取り組みを以前にも増して積極的に進め、地域社会における調剤薬局の活躍の場をさらに広げていきたいと考えております。

今後とも当社に対するご支援の程、何卒よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長 **三津原 博**

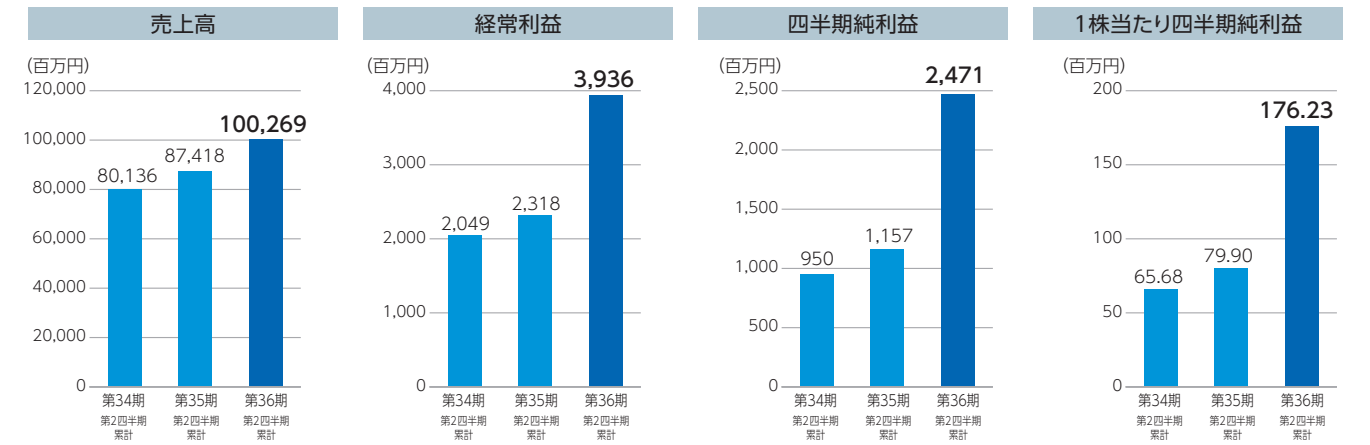


営業概況

業績のポイント

- 各事業セグメントともに順調に売上高が伸長したことに加え、業務の効率化推進等による経費抑制策が奏功。これらの結果、増収及び大幅増益を達成し、**第2四半期連結累計期間の業績としては過去最高益を更新。(連結売上高がはじめて1,000億円台を超える)**
- 調剤薬局事業では、18店舗の厳選出店と既存店の堅調な進展に加え、**ジェネリック医薬品の使用促進・在宅医療への取り組み強化等による調剤報酬の増加**が業績に貢献。
- 医薬品製造販売事業では、**販売品目は新製品19品目を含む575品目**にまで拡大。年間最大生産能力100億錠超のグループ生産体制の実現に向け、つくば第二工場の建設も決定*。
- 医療従事者派遣・紹介事業では、高水準で推移する薬剤師の派遣・紹介需要を背景に、求人数の増強や登録者数の確保を着実に推進。**第3の事業の柱として順調な成長**が続く。
- 当第2四半期末に**1株当たり40円の配当**、また10月1日を効力発生日として**普通株式1株につき2株の株式分割**を実施。期末配当は1株当たり22円を計画し、実質的な年間配当額は前期比14円増配の計画。
- 通期の業績見通しを上方修正**。連結売上高220,455百万円(前期比21.2%増)、営業利益10,742百万円(同61.6%増)、経常利益9,491百万円(同58.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,611百万円(同102.0%増)を計画。

*詳細はP7～P8をご参照願います。



※ 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の値を表示しております。

※ 2015年10月1日付けで普通株式1株につき2株の株式分割を行い、前期以前のデータは、遡及修正した数値を記載しております。

次のステージでの飛躍に向けて 1

調剤薬局事業と医薬品製造販売事業を両輪とした業容の拡大

【調剤薬局事業】

日本最大級の医薬分業プロジェクト



旭病院前薬局



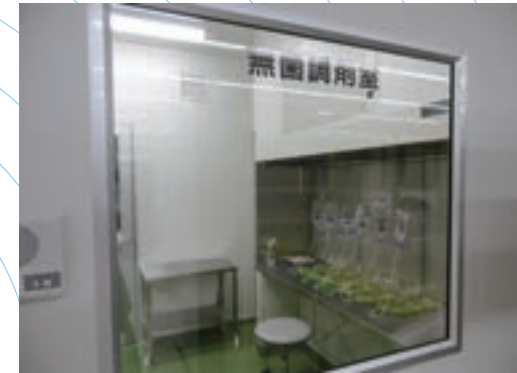
旭薬局

千葉県内の基幹病院における院外処方への全面切り替え

日本調剤は本年7月、国内最大級とも言える医薬分業プロジェクト<千葉県内の基幹病院における院外処方への全面切り替え>に対応した出店を行いました。同病院は、一日に発行される処方せんが1千枚以上という県内有数の大型総合病院です。当社ではこの一大プロジェクトに対応すべく、市内に調剤薬局3店舗を出店し、門前に構える日本調剤旭薬局・旭病院前薬局の2店舗では薬剤師50人体制でスタート。旭薬局では、夜間窓口を設置して24時間365日の営業体制を整え、一方、旭病院前薬局では在宅医療に不可欠な無菌調剤室の設置を行い、両店舗で地域のかかりつけ薬局機能をはたすべく取り組みをはじめております。



旭駅前薬局



在宅医療に不可欠な無菌調剤室

お薬の待ち時間短縮と医療費負担軽減の成果

営業開始から早々に、ジェネリック医薬品への変換率90%という驚くべき成果が出ています。これは金額に換算(当社試算)すると、年間2億7,300万円の医療費削減/患者さまにおける年間4,600万円の薬剤費負担軽減、に相当する効果です。また、患者さまにお薬をお待ちいただく「待ち時間」は、平均20分と大幅に短縮されました。

今回の取り組みは、医薬分業が地域社会や患者さまの医療費負担を軽減するという、有益な結果をもたらすことを示した成功事例と言えます。

当社としては、国の社会保障制度を支え国民の皆さまの健康維持に貢献していくことを重要な責務と捉え、「真の医薬分業の実現」をこれからも追い求めてまいります。



24時間対応の夜間受付

次のステージでの飛躍に向けて 2

調剤薬局事業と医薬品製造販売事業を両輪とした業容の拡大

【医薬品製造販売事業】

つくば第二工場の建設を決定



造粒機



高速打錠機

年間最大生産能力100億錠を超える グループ生産体制の構築へ

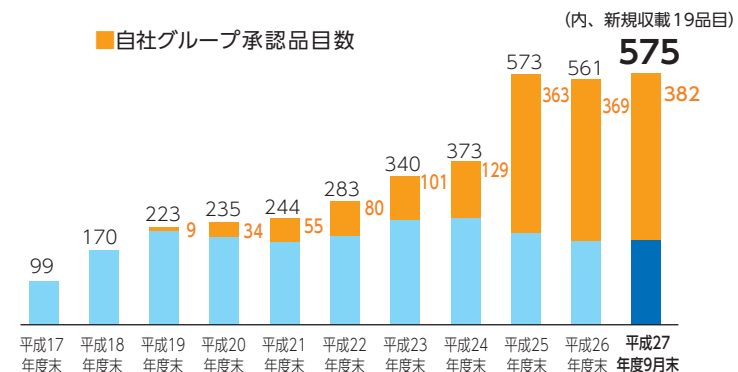
このたび日本調剤グループでは、今後のジェネリック医薬品市場の急速な拡大を飛躍的な業容拡大につなげるとともに、ジェネリック医薬品メーカーとしての安定供給責任を果たすべく生産設備の増強に向け、つくば第二工場の建設を決定しました。今回の新工場建設により3拠点6工場体制の確立、そして遂に、年間最大生産能力100億錠超のグループ生産体制が実現いたします。

本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」（骨太の方針）では、社会保障を歳出改革の重点分野に据え、ジェネリック医薬品の数量シェアの目標値を“平成30年度から平成32年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする”ことが明記されました。当社グループは本格的な市場拡大期を見据え、業界トップクラスの販売品目数水準確保と高品質な製品の安定供給体制の強化に努めてまいります。



PTP包装ライン

販売品目数の推移



平成27年12月 薬価基準収載予定品 (9品目)

- アムバロ配合錠 [JG]
- ロサルヒド配合錠 HD [JG]
- オロパタジン塩酸塩 OD 錠 2.5mg [JG]
- オロパタジン塩酸塩 OD 錠 5mg [JG]
- セルトラリン錠 25mg [JG]
- セルトラリン錠 50mg [JG]
- イコサペント酸エチル粒状カプセル 300mg [CH]
- イコサペント酸エチル粒状カプセル 600mg [CH]
- イコサペント酸エチル粒状カプセル 900mg [CH]



日本ジェネリック(株) つくば第二工場(予定図)

在宅医療実績が全営業店舗の90%を突破

～今年度中の100%達成を目指す～

当社では業界に先駆けて薬剤師による在宅医療の必要性をいち早く認識し、患者さまのご自宅へ薬剤師が伺い、薬剤の管理・服薬指導を行う訪問服薬指導に取り組んできました。

その結果、本年9月末の時点で、在宅医療の取り組み実績を示す在宅患者訪問薬剤(居宅療養)管理指導において94.6%の店舗で実施実績を計上しました。また、当社ではこの動きをさらに進め、平成27年度中に全営業店舗での在宅患者訪問薬剤(居宅療養)管理指導の達成を目指しております。

▼「日本調剤の薬剤師訪問サービス」紹介ページ
<http://www.nicho.co.jp/homecare/>



「日本の“かかりつけ薬局”宣言」キャンペーン第2弾がスタート

～全店舗で薬局スタッフ自らが薬局サービスをアピール～

本年10月1日より、「日本の“かかりつけ薬局”宣言」キャンペーン第2弾がスタートしました。第2弾では、薬局スタッフが白衣のネームプレートに本キャンペーンのために制作されたバッジを付けて、薬局サービスをアピール。また、北海道・岩手県・宮城県の各エリアではテレビCMの提供も行いました。今後とも様々なキャンペーン活動を通じて、国民の皆さまに親しまれ、お役に立つ調剤薬局＝日本の“かかりつけ薬局”を目指してまいります。

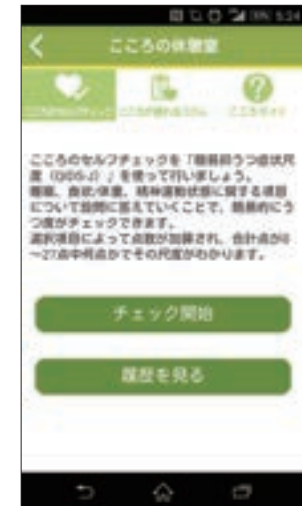


キャンペーンバッジのイメージ

電子版お薬手帳「お薬手帳+プラス」の機能がさらに充実

～新設「健康コンテンツ」の第1弾として、精神科医監修「こころの休憩室」もスタート～

▶「お薬手帳プラス」紹介ページ <https://portal.okusuriplus.com/>



QRコードを読み取ってアプリをインストール

昨年10月からサービス運用を開始した「お薬手帳プラス」がバージョンアップし、さらに機能が充実しました。今回のバージョンアップでは「準会員」を新設。一般の方からの利用してみたいという多くの声にお応えし、日本調剤の薬局をご利用していない皆さまにも準会員として、ご利用いただけるようになりました。

さらに本年10月からは、健康管理やヘルシーなラ

イフスタイルをサポートする「健康コンテンツ」も新設。精神科医監修による、こころが軽くなる新コンテンツ「こころの休憩室」、メールマガジン(有料)「こころトーク」がスタートしました。

こうした様々な取り組みの結果、会員数は順調に増加し、既に2万4千人の方々にご利用いただいています。今後も、より便利で使いやすいアプリとして随時、コンテンツの充実を図っていきます。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (平成27年9月30日)	前期末 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	69,882	60,096
現金及び預金	20,354	13,952
受取手形	151	321
売掛金	21,569	20,001
電子記録債権	671	1,091
商品及び製品	17,917	15,911
仕掛品	1,447	1,377
原材料及び貯蔵品	4,643	3,778
その他	3,139	3,672
貸倒引当金	△12	△10
固定資産	70,948	70,044
有形固定資産	49,934	48,819
建物及び構築物	21,997	18,648
土地	17,137	17,043
建設仮勘定	938	4,798
その他	9,860	8,329
無形固定資産	10,106	10,376
投資その他の資産	10,907	10,848
資産合計	140,831	130,141

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (平成27年9月30日)	前期末 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債	62,314	53,474
買掛金	36,761	31,306
電子記録債権	1,997	2,086
短期借入金	1,210	5,100
一年内償還予定の社債	7,000	—
一年内返済予定の長期借入金	6,188	6,069
未払法人税等	1,882	1,625
賞与引当金	2,258	2,080
役員賞与引当金	8	98
売上割戻引当金	120	130
その他	4,886	4,977
固定負債	58,672	59,031
社債	—	7,000
長期借入金	53,040	46,184
役員退職慰労引当金	924	886
退職給付に係る負債	993	917
その他	3,714	4,042
負債合計	120,986	112,505
純資産の部		
株主資本	19,736	17,515
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	4,754	4,754
利益剰余金	14,094	11,868
自己株式	△3,065	△3,059
その他の包括利益累計額	108	119
その他有価証券評価差額金	295	333
退職給付に係る調整累計額	△186	△213
純資産合計	19,844	17,635
負債・純資産合計	140,831	130,141

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期(累計) (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前期(ご参考) (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高	100,269	87,418	181,844
売上原価	82,369	72,571	149,915
売上総利益	17,900	14,846	31,929
販売費及び一般管理費	13,685	12,223	25,281
営業利益	4,214	2,623	6,647
営業外収益	373	333	693
営業外費用	652	637	1,337
経常利益	3,936	2,318	6,003
特別利益	—	0	5
特別損失	90	29	477
税金等調整前 四半期(当期)純利益	3,845	2,289	5,531
法人税、住民税及び事業税	1,511	988	2,705
法人税等調整額	△137	143	47
四半期(当期)純利益	2,471	1,157	2,778
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	—	—	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,471	1,157	2,778

四半期連結包括利益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期(累計) (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前期(ご参考) (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
四半期(当期)純利益	2,471	1,157	2,778
その他の包括利益	△10	98	116
その他 有価証券評価差額金	△37	74	95
退職給付に係る調整額	26	24	20
四半期(当期)包括利益	2,460	1,256	2,894
(内訳)			
親会社株主に係る 四半期(当期)包括利益	2,460	1,256	2,894
非支配株主に係る 四半期(当期)包括利益	—	—	—

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

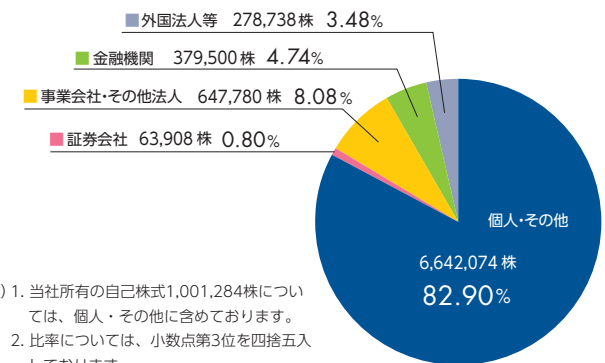
科目	当第2四半期(累計) (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前期(ご参考) (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,435	1,502	5,831
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,329	△3,394	△8,437
財務活動による キャッシュ・フロー	2,403	3,575	1,422
現金及び現金同等物の 増減額	6,509	1,682	△1,183
現金及び現金同等物の 期首残高	13,844	15,027	15,027
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	20,354	16,710	13,844

株式及び会社データ (平成27年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数	22,096,000株
発行済株式の総数	8,012,000株
株主数	5,686名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三津原 博	2,340,000	29.20
三津原 庸介	1,660,000	20.71
有限会社マックスプランニング	560,000	6.98
日本調剤従業員持株会	215,550	2.69
三津原 陽子	200,000	2.49
三津原 恵子	200,000	2.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	124,100	1.54
日本証券金融株式会社	49,500	0.61
CBNY OBERWEIS INTERNATIONAL OPPORTUNITIES FUND	40,700	0.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	32,300	0.40

(注) 1. 当社所有の自己株式1,001,284株は上記大株主から除いております。
2. 出資比率については、小数点第3位以下を切り捨てております。

株主メモ

● 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
● 期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
● 中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
● 定時株主総会	毎年6月
● 株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
● 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
● 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
● 公告の方法	○電子公告 公告掲載URL http://www.nicho.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お知らせ

当社は、平成27年10月1日(木)を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

● 株式分割の目的

株式分割を行い投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性を高めて、投資家の皆さまに、より投資しやすい環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

● 分割の方法

平成27年9月30日(水)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

会社概要

商号	日本調剤株式会社	取締役	代表取締役社長	三津原 博	監査役	中川 義雄
設立	昭和55年3月	常務取締役	鎌田 良樹	監査役(非常勤)	薄金孝太郎	
本社所在地	〒100-6737 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウノースタワー37階 03-6810-0800(代表)	常務取締役	見田 元	監査役(非常勤)	長嶋 隆	
資本金	39億5,302万円	常務取締役	三津原庸介			
連結売上高	1,818億円(平成27年3月期)	取締役	深井 克彦			
従業員数	正社員2,566名 パート他680名 ※パート他は8時間換算に基づく 平均雇用人数であります。 (平成27年3月31日現在)	取締役	宮田 徳昭			
事業形態	保険調剤薬局チェーンの経営	取締役	鈴木 重夫			
		取締役	小柳 利幸			
		取締役	笠井 直人			
		取締役	小城 和紀			
		取締役	金井 久兮			

(注) 取締役の金井久兮は、社外取締役であります。
(注) 監査役(非常勤)の薄金孝太郎、監査役(非常勤)の長嶋隆は、社外監査役であります。

日本調剤ネットワーク

